

# 農業の人材育成の拠点に 地域から発信、単独校の夢の挑戦

大分県立久住高原農業高等学校 校長 小俣 秀之



地域とともに歩む、魅力ある取り組み

農業科1学科1クラス、スクールテーマは「小さな学校の大きな希望」。九州で最も標高の高い農場をもち畜産や花など多様な農業教育を展開しています。特に実学を中心にした実践教育を行っています。

専門機関との産官学連携の取り組みとして、宮崎大学農学部、九州大学農学部付属農場高原農業実験実習場、大分大学理工学部と連携して講義や研究を行っています。先進農家や県農政部や地域のプロフェッショナルによるアグリマネージメント実技指導も行っています。

JA全農大分県本部と連携し農業を担



JA全農



うし部全国和牛宮城大会 (優良賞)

う人材の育成プログラムとして、農産物の販売を事業とする県本部の職員が講師となり最新の市場動向、流通の仕組みを授業で教え、生産・販売・流通の現場に向き実際の様子を学習しています。

また、特色ある部活動として「うし部」と「農業愛好部」があります。「うし部」は畜産教育の特色を活かして、牛

の管理や共進会への参加等で生徒の学習意欲を高め、将来の畜産後継者の育成を目指し、毎日放課後活動しています。

「農業愛好部」は、農業をこよなく愛する生徒たちが集まる部活です。放課後自分たちで学校の農業実習だけでは足りず、地域に出向き、田植えや稲刈り、地元の保育園児とサツマイモの定植や収穫などいろいろな農業体験実習を行っています。

新たな教育施設と全国募集

大分県と竹田市は、来年の単独校化に合わせ、学校の敷地内に「アグリ創生塾」と「学生寮」の施設を建設中です。

農業人材育成研修施設



九州大学農学部高原実習実験場視察



草花類型生徒による出前授業

「アグリ創生塾」は、高い専門性と経営感覚を持ち県内農業をけん引する人材を育成します。県下の農業科のある高校9校の生徒が、学校では学ぶことのできない農業に関するさらに深い学びができる施設であり、大学教授や農業経営者、先進農家等による研修会、大学進学を目指す勉強合宿、資格取得等現在研修計画を検討しています。また、小中学生や一般向けの栽培・飼育体験教育等も実施予定です。学生寮は3階建てで男女別棟の2人部屋です。冷暖房完備の快適な寮生活ができ、土日も開寮しておりいろいろな活動ができます。

雄大な大自然にかこまれた竹田市周辺には、いまも地域の中核農家や産業人として活躍している人たちがたくさんいます。卒業生の中には、分校から単独校化する夢を抱いている人たちもたくさんいます。隣接地域には1km以内に、小学校、中学校、高校、総合病院があり、近くに農林水産部指導センター畜産研究部

### 夢を語り 夢を創り 夢を実現する 単独校「久住高原農業高校」

進路に応じて、農業や起業に興味がある「農業経営実践コース」と大学進学や研究に興味ある「プロジェクト探究コース」を2学年から2コースを設け、幅広い学習ができるようにします。また、学校設定科目として、生徒自らが何を栽培し、どう育て、どう売るかを企画する、栽培から販売、加工、経営に挑戦できる「チャレンジMY農場」の科目を1年生から3年生まで基礎から応用まで3年間通じて学習することができます。さらに有機JAS認証を取得し、24品目でAS IAGAP認証も取得しており安全安心に係わるノウハウも学べます。

### 新しいカリキュラム

また、全国募集として、多くの仲間とあえるように全国から定員の30%以内(12名以内)を募集します。



久住高原農業高校紹介ラジオ出演

もあるちよつとした学園都市です。このような環境の中で、2019年4月に大分県立久住高原農業高等学校(現三重総合高等学校久住校)として分校から独立して農業の単独校になります。県や市の期待を受けて、農業の人材育成の拠点として、また、県下の農業高校の中心として、さらに全国の農業高校の核になれるように夢のある人材を育てていきたいと思えます。

